

一般社団法人日本アマチュア無線連盟 (JARL)

会長 稲毛 章殿

2012年 月 日

### D-STAR 網の進化のお願い

住所

氏名

印又は署名

呼出符号

拝啓 平素はアマチュア無線の普及、啓蒙、運用技量向上、監督官庁との窓口などで大変お世話になります。特に、JARL が世界に先駆けて開発した D-STAR の関係者、レピータ管理団体、メーカーなどの並々ならぬ努力の成果と大変感謝しております。

私は、D-STAR の利用者の一人で、外国との交信も楽しんでおります。しかし、JARL の D-STAR 網は仕様制定後の実装の改良がほぼ停止したまま（第 1 世代又は G1 と呼ぶ）で、諸外国の D-STAR レピータ群が第 2 世代 G2, (DPlus, 更には, ircDDB など)への進化から取り残されております。

諸般のご事情があるとは思いますが、JARL\_D-STAR 網改良の委員会、有志による研究会、作業班(Working Group)などを組織されて、下記の事項に対して進化の糸口を探していただくようお願い申し上げます。 敬具

### 記

#### 1. 現状の D-STAR 無線機で外国と交信し難い不便さの解消

(1) JARL\_D-STAR 網から市販されている D-STAR 無線機では、親日家で JARL レピータ群への接続方法を熟知している人達（数人）だけとしか交信が困難である。

この遠因は、次の(a)と(b)とがあると推定している。

(a) JARL\_D-STAR 網から双方向接続できないレピータ群が外国に増えた。

(b) 外国のレピータ利用者は、相手の呼出符号によって呼ぶ習慣になっており、JARL のレピータ呼出には不慣れである。

#### 2. 改良方向

(1) 市販の D-STAR 無線機によって、容易に外国接続できないレピータ網の課題を抽出し、解決策を提案する。

例：第 2 世代のレピータ(G2, DPlus)の適用のための障害、利点、欠点を研究する。  
免許所持者が遠隔地のレピータの会話を聴取できるだけでも進歩である。

#### 3. 改良計画案策定

全日本の D-STAR レピータを一斉又は順次進化させるための実施計画を練る。以上